NIE実践報告

1．タイトル：「平和」について考えよう

2．学校名

滋賀県彦根市立東中学校

3．実践者名（代表者名）

門野智哉

4．学年

1学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

社会科及び総合的な学習の時間　　２７４名

6．単元（本時の学習課題）名

「平和」について考えよう

7．目標（狙い）

・新聞記事を要約して自分の言葉で表現し他者にわかりやすく伝えるコミュニケーション能力を身につける。
・新聞記事を活用し、日本がかかわった過去の戦争や、現代の世界平和についての知識、理解を深める。

8．評価の視点

・新聞を身近なメディアとして捉え、意欲的に記事を収集し、世界平和に対する関心を高めることができる。
・日本の過去の戦争や現代の世界平和について、自分の意見を文章にまとめ、他者に伝えることができる。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

特設単元
・「平和」について考えよう（１１時間）・・・平和学習実地体験６時間を含む　　合計１１時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

＜第一次＞　新聞についてのガイダンス　（１時間）　　※ＮＩＥ事業との連携で実施
＜第二次＞　平和に関する新聞記事レポートづくり　（１時間）
＜第三次＞　平和に関する新聞記事レポートづくり　（１時間）
＜第四次＞　学級でのレポート交流会　（１時間）
＜第五次＞　学年でのレポート発表会　（１時間）
＜第六次＞　平和学習実地体験　（６時間）　　※総合的な学習の時間との連携で実施

※留意点　・レポートでは、平和に関する新聞記事を集め、その内容を読み取り、２００文字程度の文章で要約する。
・レポート交流会や発表会では、意見を伝え合い、理解や認識を深める言語活動を取り入れる。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

新聞記事をもとにして、グループ内または学級全体の前で発表し、それを聴くという姿勢が身についたと感じた。もちろんこれは教科の授業だけで育成できるものではなく、学級活動やその他の活動の中で育つものでもあるが、その活動の一環として新聞活用の中でも取り組みを行ったことは、意義深いものであった。

12．成果と課題

今回の学習では、まとめとして、立命館大学国際平和ミュージアムにおける平和講義とミュージアム展示の見学をおこなった。展示見学の中では、実物資料に触れるとともに、ボランティアガイドによる戦争体験の話を聞く機会にも恵まれた。自分たちが新聞記事を通して得た知識や情報を、実体験としてフィードバックすることができ、大変意義深い時間となった。また、新聞の活用を１つのきっかけとして、教科の枠組みを超え、他の教科や総合的な学習の時間等と連携することで、大きな学習効果が得られた。